

拝啓

岩手山も麓まで雪に覆われ、降る雪がそのまま庭に残る盛岡の今日此の頃となりました。今年もあと残り僅か、間もなく新年を迎えようとしております折柄、皆様までおええことお慶びの事存じます。

先日は私の敎勳とあつた盛大にお祝ひ下さり、本当に有難うございました。私如きにお寄せ下さった皆様の御厚意の教々、身に沁みて嬉しく有難く、厚く御礼申し上げます。あの日、人生の波に唐かかれた、皆様の美しいお顔、凜凜としたお姿に、過ぎ去った時間の重みを感じ、また懐かしい皆様のお声に、往時を殊の他懐かしく思い起すことあります。すなわち、いつの間にかは皆様のお顔々とお声が、学生の時のお顔とお声になつてしまつたのが、本当に不思議なことよ、嬉しき事でした。それによつても皆様と皆様の御家族とこそ大切な週末の時間を私のためにお割き下さり、全国各地から皆様がお集り下さり、あのような楽しい時間をお作り下さる事は、どのようにお祝ひ申し上げても足りないと思っております。本当に有難うございました。

私の敎勳の栄に与つたことでござつたのは、偏に草刈先生大内先生と先輩諸先生の御蔭、そして私を受け容れて下さった皆様の御蔭と心から感謝申し上げます。そしてそのようは巡り合せとよませて頂けました事を、誠に不思議なこと存じております。人生の途上私が積み重ねて参りました「借金」の山は、それだけついても少なくなり

とも返済するべく努力を重ねなければ、心から思ふところとす。先日皆様がお見え下さった、あの心温まる「時は、私に、そのためのエネルギーを一杯与えて下さいました。そのエネルギーを、これから大切に使用させて頂く所存です。何卒皆様、今後私をお見送り下さいますよう。盛岡にはよいよ、本格的に冬がやってきましたよ。何かと心忙しい年の瀬を迎えます折柄、皆様にはお体も「層」お気をつけておええことお祈り下さいますよう。

皆様と皆様の御家族御一統様の御健康と御多幸を、心からお祈り申し上げます。

本当に有難うございました。
よい年をお迎え下さい。

敬具

平成十七年十二月九日

盛岡市東線が立六二八

佐藤 淳 （サイン）

比呂様